

令和元年度

「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

相双域内選考作品集



福島県教育庁相双教育事務所

表紙絵

題『きりんの おやこ』

いしかわ みお

石川 澪 さん

(相馬市立中村第一小学校1年生)

令和元年度「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

相双域内選考作品集の刊行にあたって

福島県教育委員会主催の「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」は、子どもたちが、学校や家庭、地域の人との体験活動や交流活動の中で感じた思いや願いを、17音で表現することを通して、子どもたちの豊かな心を育てるとともに、人と人との絆を深めることをねらいとしています。

本事業は、平成14年度にスタートし、今年度で18回目を迎えました。応募者は年々増加し、今年度は県全体で45,477組という過去最高の応募がありました。

相双域内からは、「絆部門」に4,797組、「復興部門」に1,770組、合わせて6,567組の応募をいただきました。その中から最優秀賞に3組、優秀賞に1組、佳作に2組が入賞しました。県全体の45,477組の中から選ばれたことは、素晴らしいことです。

特に「復興部門」では、東日本大震災・原子力発電所事故からの復旧が進む海岸復旧整備により9年ぶりの「海開き」を題材にした作品が多く寄せられ、子どもたちの未来への思いや願いを読み取ることができました。

このようにたくさんの応募があったことは、相双域内の皆様に、本事業の趣旨を十分に理解していただいていると、改めて実感しております。作品をご応募くださった皆様、誠にありがとうございました。

これからも、人と人とのつながりと豊かな体験活動等を通して、さらに家庭や地域の絆を再確認する機会となるよう本事業に取り組んでいただきたいと思います。

この選考作品集は、相双域内から応募された6,567組のうち、入賞作品及び二次審査通過作品、一次審査通過作品の341組をまとめたものです。

今後も本事業に取り組むことで、学校、家庭、地域で子どもたちを支え育てる仕組みがさらに進むことを願い、刊行のあいさつといたします。

令和2年1月

福島県教育庁相双教育事務所長 佐藤 由弘

掲載作品数

所 属 学 年	絆部門	復興部門
幼 稚 園 児	1	0
小学1年生	32	9
小学2年生	21	7
小学3年生	24	6
小学4年生	27	5
小学5年生	27	10
小学6年生	32	16
中学1年生	40	20
中学2年生	25	7
中学3年生	22	10
合 計	251	90

最優秀作品（復興部門）

しよっぱいな
八年ぶりの
波しぶき

鹿島小 四年 大久奏音空

あの時は
お座りしてた
砂の上

母 大久有加吏

ぼうはてい
どんだんどんだん
でかくなる

石神二小 三年 坂本 佑磨

海見えず
すこしさみしい
波の音

父 坂本 真伸

復興を
願う駅舎に
人の波

母 葉倉 香織

福島と
未来へつながる
鉄の道

原町一中 三年 葉倉 幹久

優秀作品（復興部門）

ぼくたべる
しゅんのさかな
おいしいな

中村二小 一年 渡邊 朗吾

孫のため
辞めてたまるか
魚とり

祖父 渡邊 登

佳作作品（絆部門）

人ごみで
そっとつないだ
母の手を

向陽中 二年 佐藤 花香

いつのまに
大きくなった
我が子の手

母 佐藤 かおり

流行（はや）り服
破れているよと
祖母は言う

向陽中 一年 谷津田 結生

得意気に
のぞいた肩が
まぶしいね！

祖母 森 良子

二次審査通過作品（絆部門）

おかあさん じしゃくのように くつつくね
やすらぎが ほしくて君を ギュッとハグ

夏休み わたしがつくる 朝ごはん
朝ねぼう 今日は母の 夏休み

ぼく一人 おとまりできるよ 祖母の家
会話なく 火が消えたような 晩ごはん

じいちゃんに わがまま言える 夏休み
たまにしか 会えない孫に 尻敷かれ

夏休み 花火みたいに 一しゅんだ
「宿題は!」 母の声こそ 大花火

母さんの くやし涙が 目にしみる
次は勝つ 誓った息子の 目に涙

二次審査通過作品（復興部門）

憧れの 聖地でサッカー Jヴィレッジ
光る芝 煌めく瞳で ポール蹴る

波の音 共に聞こえる 笑い声
笑い声 波の音より 響いてる

笑い声 もどってきたよ 北泉
ひさしぶり 塩のペタペタ 砂まみれ

浜団で 汗水流した ボラソティア
作業する 娘の姿に 光る汗

福田小 一年 菅野 心翔
菅野 香織

原町一小 二年 佐々木 佳穂
佐々木 祐子

中村一小 三年 太田 賢吾
太田 雄彦

原町三小 三年 新妻 蒼史
三浦 洋四郎

広野小 四年 西本 乃愛
西本 理沙

原町一中 一年 川久保 光
川久保 成子

中村一小 五年 寺島 虎太郎
寺島 ゆかり

向陽中 一年 岡田 晴南
岡田 育子

原町三小 一年 渡部 未悠
渡部 美恵子

小高中 三年 佐藤 和
佐藤 和枝



一次審査通過作品（絆部門）

【幼稚園 年長】

ばあちゃんのでっかいすいか われないよ
なんかいも チャレンジできて いいんじゃない

【小学校 一年生】

おかえりを いちばんさきに つたえたい
帰宅して 玄関先で 笑顔咲く

はじめての うんどうかいに みんなくる
帰郷して 母校の庭に 桜舞う

てをつなぐ ははのてのひら あたたかい
息子の手 成長感じ 母涙

妹と二人で来たよ おじいちゃん
墓石前 玩具(おもちゃ)を願う 子供達

かぶとむし たくさんもらって うれしいな
虫しく よるこぶ子ども 世話は母

なみがきて くちにはいった しおのあじ
しょっぱいと さけんだおすこ うれしそう

サブライズ ママからてがみ げんきでた
子だけ行く キャンプバッグに 隠し入れ

一等賞 喜ぶママの 顔浮かぶ
一安心 オール一本 おめでどう

あしたはね ぼくよりおそく おきてきて
目覚めたが 息子に甘え 二度寝する

ダメだよね ママをみながら てにおもちゃ
知らんぶり 子の姿見て 負ける母

みどり幼稚園 年長 園分 桜志
伏見 裕子

福田小 一年 藤 隼人
藤 直哉

新地小 一年 野口 さくら
野口 かおり

駒ヶ嶺小 一年 紺野 陽向
紺野 妹子

(相)大野小 一年 木幡 悠馬
木幡 賢太郎

山上小 一年 佐藤 陽斗
佐藤 朋美

八幡小 一年 上遠野 煌
上遠野 友里佳

中村一小 一年 佐藤 詩亜
佐藤 智恵子

中村二小 一年 星 龍利
星 雅美

中村二小 一年 菅野 聖斗
菅野 安里

中村二小 一年 本郷 琉奈
本郷 玲奈

うれしいな いつもかわいい おべんとう
おべんとう 苦手を細工も 愛こめて

おかあさん きょうはねててね あさごはん
寝たふりで 父と娘で たまご焼き

うみのいえ こどもてんちよう こえからす
お客さん 大きな掛け声 笑みこぼれ

うれしいな じてんしゃのれた なつやすみ
汗だくで 子に付き合った 夏休み

母さんの おひざはぼくの 指定席
日に日にと 足のしびれる 速さ増す

ははとえほん みながらねちやう わたしかな
子の寝顔 見てかみしめる 至福の時

さらあらい わたしもやるよ おかあさん
ありがとう 娘の気持ち 温かい

とりたての ももはパリッと おいしいね
桃がりで 香りや味を 堪能す

おとうとに やつとあえたよ なつやすみ
大病 耐えた生命(いのち) 愛おしい

ばあちゃんが わらうといつも ししまいだ
孫が来る 帰る時には 不整脈

じしんきて つくえのしたで はなしする
震災の 経験話す 家族会

パパ食べて ゆいが作った カレーだよ
いつもより ゴロゴロ野菜の カレーだね

のまおいで はたをなひかせ ちちとあね
父の旗 今年もなびく 野馬追いで

じどうかん ままのべんとう うれしいな
うれしいな かんしょくされて ママハッピー

桜丘小 一年 母 淡路 結愛
淡路 祥子

桜丘小 一年 母 奥山 礼彩
奥山 知晴

桜丘小 一年 母 林 星那
林 紀子

飯豊小 一年 母 青田 瑠那
青田 美由紀

飯豊小 一年 母 坂本 優太
坂本 美保子

飯豊小 一年 母 岡 梨々花
岡 香織

飯豊小 一年 母 佐土原 みこと
佐土原 朋絵

日立木小 一年 母 大和田 晃聖
大和田 恵利子

原町一小 一年 祖母 荒 愛羽路
荒 田鶴子

原町一小 一年 祖母 鈴木 希恵
森 登美子

高平小 一年 父 末永 明香里
末永 猛

高平小 一年 父 蒔田 結衣
蒔田 拓也

大夔小 一年 母 西内 彩華
西内 章子

大夔小 一年 母 西内 琉翔
西内 咲江

お兄ちゃん なすがきらいで 食べれない
妹が こっそり食べる 兄の分

復興で 絆深まる 地元民
仲間との 絆で今を 生きている

ありがとう きもちをこめて てがみかく
また増える 母の大事な たからもの

1234 あさのたいそう てるげんき
子とともに 五、六、七、八！ すこやかに！

おてつだい やつてみたいな さらに
さらあらい ちよつとこわいな おかあさん

ねえみてて おこめどぐのは とくいわざ
よろしくね そつどぐくと 水遊び

おばあちゃん もつとはやく あるいてよ
孫よりは 何よりまざる ダイエット

じてんしゃに やつとのれたよ うれしいな
自転車に 乗る子の背を見 もれる笑み

夏休み いっぱいあそんで まっくろけ
夏の色 麦わら帽子が よく似合う

プレゼント ルビーみたいな ミニトマト
ありがとう 宝石入りのお弁当

赤ちゃんの 足がかえるに にているよ
子が生まれ 小さい母が もう一人

かたづけを しないとママは オニババに
がまんがまん ツノをかくして しんこぎゅう

かぞくとね 花火をしたよ 夏休み
手花火に 笑顔花咲く 夏の夜

石神一小 一年 母 矢野馬 絢香
矢野馬 万貴

石神二小 一年 祖父 永橋 芳穂
永橋 来揮

なみえ創成小 一年 母 松林 花音
松林 詩織

双葉北小 一年 母 高橋 美優
高橋 奈美

川内小 一年 母 遠藤 絢人
遠藤 麻衣

槽葉北小 一年 母 渡邊 莉央
渡邊 衣理

広野小 一年 祖母 松本 航河
北郷 和子

新地小 二年 父 寺島 陽咲
寺島 剛

駒ヶ嶺小 二年 母 目黒 柚花
目黒 真実

(相)大野小 二年 母 酒井 大和
酒井 恵利子

八幡小 二年 母 岩佐 優
岩佐 雅恵

中村二小 二年 母 西谷 いろは
西谷 朋子

桜丘小 二年 姉 佐藤 優光
佐藤 飛羽

【小学校 二年生】

【小学校 三年生】

おばあちゃん あそんでくれて ありがとう
孫の顔 今日の疲れ いやされる

飯豊小 二年 林田 彩葉
大塚 ヒロ子

今年こそ 一人でお泊まり 行ってきます。
成長に さみしさ感じ 寝れぬ母

原町一小 二年 東海林 冬聖
東海林 希望

初試合 バッドに当たり 笑みこぼす
初ヒット 涙腺ゆるむ 母の顔

原町一小 二年 遠藤 拓海
遠藤 法子

ゆかたきて ママにおそわる ぼんおどり
浴衣着せ 伝統つなぐ 盆おどり

原町二小 二年 岡田 優希乃
岡田 加奈子

たまごみそ わたしの子にも つたえたい
継がれゆく 嗚呼懐かしや 祖母の味

原町三小 二年 富田 恵唯
富田 恵

かたたたき つかれたパパが すぐえがお
成長を 我が子の拳で 感じとる

原町三小 二年 真城 菜那
真城 久幸

なつやすみ そだてたトマト おいしいな
サラダには 娘のトマトを トッピング

太田小 二年 渡邊 花珠
渡邊 陽子

かいもののもつはもつよ おかあさん
軽々と 袋持つ手が 頼もしい

石神二小 二年 坂本 颯太
坂本 由香

おいしいな じぶんをつくった ピーマンは
いつもより おいしくなった!! 魔法だね

石神二小 二年 尾島 瑠有
尾島 詩織

夏やさい いっぱいとれて うれしいな
その野菜 美味しい料理に 変えましょう

鹿島小 二年 高野 武汰
高野 由紀

トマトがね 赤くなったよ お父さん
娘より 先に実の色 見る私

八沢小 二年 遠藤 夕結
遠藤 享

車停め 急ぐ息子に 声かける
わかってる ぼくよりママが しんばいだ

上真野小 二年 富澤 美佐江
富澤 亮二

そばのかた たたいてみると かつちから
孫の手が 肩にさわると もう全快

上真野小 二年 今井 紗和
安藤 みどり

だいのって おさらびかびか おてつだい
ありがとう そこらじゅうが 泡だらけ

広野小 二年 齊藤 陽莉
齊藤 静香

今日からは わたし一人で ねるからね
落ち着かず 部屋を歩き来し 寝不足に

新地小 三年 齊藤 葵
齊藤 幸子

夏かぜで ねこんだ母に たまごがゆ
たまごがゆ 心身ともに あたたまる

八幡小 三年 新妻 蒼葉
新妻 由貴

こごごぞ ゆうきを出して 声かける
席ゆする 息子の姿 たのましい

中村一小 三年 佐藤 広規
佐藤 重広

ピカピカの グローブはめて 守びにつく
白球を 追う子の姿が 誇らしい

中村一小 三年 小林 未来
小林 祐梨子

ぼくのゆめ 父と二人で 船にのる
子に繋ぐ 漁師のバトン 夢のせて

中村二小 三年 長井 龍之介
長井 寛章

休んで 今日わたしがお母さん
料理する 手つきハラハラ 寝てられず

桜丘小 三年 鈴木 里実
鈴木 恵美

お母さん これがあうよ かわいいよ
服えらび 娘ごのみは 若すぎる

桜丘小 三年 小川 愛菜
小川 一江

これなあに 意味がわからず 父に聞く
まかせとけ 子の目盗んで 辞書を引く

飯豊小 三年 坂本 陽和
坂本 和章

としちゃんの たんじょうプレゼン ぼくえらぶ
誕生日 重ねて思う 孫の成長(のび)

日立木小 三年 山田 琳久
山田 とし子

夏休み じいじと野さい そだてるぞー
キヤー虫だー ママは日陰で 見守るよ

原町一小 三年 中橋 空奏
中橋 希有

ゆかたきて 父と花火 まちどおしい
ふと想う 亡き母見ない 孫浴衣

原町一小 三年 高田 瑛美
高田 竜樹

湯上がりに ばあちゃんの肩 シップはり
痛む肩 そつと撫でゆく 小さな手

原町二小 三年 菅野 彰人
菅野 宣子

五七五 家族みんなで 作ってる
ワイワイと 気持ち伝わる 五七五

高平小 三年 青田 翔吾
青田 浩一

あさがおが ぐんぐんのびて おおさわぎ
涼しいね 子供手作り エコカーテン

おべんどう じぶんで作って さいこうだ
火加減を のぞく我が子に 感じる成長

たまごやき ぼくもできたよ 母の味
手際良く いつもの手伝い 成果出す

暑過ぎて 勉強進まず どうしよう
大丈夫 母も涼みに 図書館へ

夏やすみ はじめて行ったよ えいがかん
ひさびさの 映画に夢中 アニメ映画

いっとれる まだかまだかと みはりばん
いっとれる おなやすいてる カラスたち

夏休み ぼくもがんばる お手つだい
夏休み 母もがんばる 宿題を

ばあちゃんち 美味しいもので いっぱいだ
母さんも 育ててもらった そのご飯

新チーム せ番号「二」で がんばろう
ひと針に 初勝利への 願ひこめ

【小学校 四年生】

前よりも 小さくなった おかあさん
いつの間に 顔が近くに きたもんだ

そうめんが はしの間を すりぬける
子の下で そうめんつかみ わたす母

母さんの かわりにぼくが 皿あらい
うれしいな 子が寝た後に 二度洗い

「もうかえる」 とちゅうであきた 夏花火
子の言葉 聞かないふりして 親夢中

石神一小 三年 白鳥 真央
母 白鳥 麻里子

石神二小 三年 中垣 実生
母 中垣 香菜子

石神二小 三年 伊藤 陽平
母 伊藤 充子

鹿島小 三年 佐藤 優月
母 佐藤 聡子

鹿島小 三年 桑折 奨大
母 桑折 裕貴子

小高小 三年 井島 彩絵
母 井島 友美

草野小 三年 鈴木 慶
母 鈴木 英久江

富岡一小 三年 加藤 百花
母 加藤 早苗

川内小 三年 秋元 綜一郎
母 秋元 真実

新地小 四年 佐藤 舜
母 佐藤 照美

駒ヶ嶺小 四年 本多 陽翔
母 本多 住江

(柜)大野小 四年 鈴木 蓮斗
母 鈴木 睦

中村二小 四年 南部 小羽音
母 南部 幸子

あついけど ピカピカみがく はかそうじ
「エライぞ」と 空から見てる おじいちゃん

弟と プールで泳ぐ うれしいな
やせてから 一緒に入るね 母ちゃんは

おじいさん わたしがやるよ ふろそうじ
「ありがとう」 孫の言葉に 目を細め

おばあちゃん 歩くのがて 手をかした
老いの身を 助ける絆 皆感謝

そば打ちを たいけんしたよ 親子でね
包丁を 持つ手に成長 垣間見る

植物も 一つの命 大切に
道端の 小さな花も 生き生きと

母入浴(ママお風呂) その間に 布団敷く
入浴後 敷いてある布団に ダイブする

はじめての おとまりたのしく ねむれない
はじめての 子はなれさみしく ねむれない

来年は プールでゼットたい おいぬくぞ
僕だって 意地があるから 負けないぞ

ガミガミと いつもにぎやか 母の声
叱りすぎ 反省しても やめられず

母ねぼう さらをあらって おどろかす
目がさめて 働く娘に 母なみだ

夏休み 母といっしょに 皿洗い
助かるわ となりでこっそり 泡流す

はいどうぞ 父へのおすび 特大よ
昼休み 娘を想い 噛みしめる

お父さん やってあげよう マッサージ
気持ちいい 体スッキリ リフレッシュ

中村二小 四年 持館 宙弥
母 持館 真美

桜丘小 四年 荒 夢唯和
母 荒 めぐみ

桜丘小 四年 寺島 理子
母 寺島 美恵子

桜丘小 四年 寺島 彩心
祖母 菅野 仲子

桜丘小 四年 板倉 菜央
母 板倉 早也日

飯豊小 四年 持館 愛美
母 持館 希

原町一小 四年 小林 愛虎
母 小林 美冴

原町一小 四年 鈴木 健吾
母 鈴木 史帆

原町一小 四年 蓮谷 友希
兄 蓮谷 成基

原町三小 四年 田尻 有加
母 田尻 ひろみ

原町三小 四年 遠藤 美佑
母 遠藤 佑希恵

原町三小 四年 藤原 優芽
母 藤原 祐美

石神二小 四年 酒井 怜唯奈
父 酒井 清高

石神二小 四年 渡部 美咲
父 渡部 秀樹

またちがう ぼくの名前は りゅうとだぞ
しかられる 今の名前は ハイカラだ

皿あらい きれいスッキリ ビッカピカ
お手伝い 嬉しいはずが 二度洗い

なつおわる ながいきしてる カフトムシ
あたりまえ おせわしたのは お母さん

お手伝い したらよるこぶ お母さん
肩もむね 子の優しさに じんとくる

今年もね 帰ってきたよ オニヤンマ
語り継ぐ 姿を変えた おばあちゃん

まきえはね こなで描くよ ふしぎだね
食卓に 絵付けの思い出 またひとつ

おまつりで 母はりきって かそうする
盆踊り 屋台気にせず 踊ります

ばあちゃん と プールに通い 健康だ
健康と 孫と交流 一石二鳥

【小学校 五年生】

弟と 今日から2人で 登校だ
手をつなぐ 兄の背中が 頼もしい

味ふたつ おぼえられたよ ありがとう
とり肉の おかず二品(ふたしな) ママと祖母

姉帰省 家族旅行 待ちどおし
あと何度 みんなで行ける 旅行かな

夜いつも 父の布団を うばう僕
手探りで 息子と布団の 位置確認

くちこたえ すなおになれず 母こまる
順調だ 心も体も 成長期

鹿島小 四年 渡部 琉斗
祖母 遠藤 敏子

上真野小 四年 尾崎 瑠空
父 尾崎 恒雄

福浦小 四年 堀内 陽斗
母 堀内 友美

飯樋小 四年 赤石澤 永輝
母 赤石澤 歩美

葛尾小 四年 松本 晴樹
母 松本 敦子

熊町小 四年 馬場 結梨花
母 馬場 由佳子

楳葉北小 四年 山内 愛裡
父 山内 弘之

広野小 四年 横田 琉愛
祖母 横田 美也子

新地小 五年 高野 明飛
母 高野 洋子

(相)大野小 五年 佐土原 紫音
祖母 佐土原 順子

(相)大野小 五年 新開 研吾
父 新開 孝倫

山上小 五年 平沢 裕生
父 平沢 謙二

八幡小 五年 高橋 暖来
母 高橋 美穂

読めない字 今は私が 助け舟
老眼で 言葉がつまる 読み聞かせ

父親と いつか一緒に 野馬追に
野馬追に いつか娘と 夢を追う

父親の 大漁願う 相馬港
子供らの 願いを胸に 漁に出る

ひいばあ の 昔話を 聞くわたし
語り継ぐ 昔の話 聞く曾孫

習い事 母の応援 勇気わく
一日の 疲れを癒やす 子の寝顔

熱中症 思いがけずに 僕がなる
おくり出す 夏の陽(ひ)のした 不安空

せ中ふむ つかれた父を マッサージ
去年より 娘の重みが 心地良く

ばばん家(ち)で ばばとババぬき ばば強し
盆休み 孫とふれあう 良き時間

おかたづけ パバのきたない 部屋はいや
帰ったら 部屋がきれい 父笑顔

キャンプして 思い出のあと 虫さされ
あと残る 記憶と傷が リンクして

つかれてる そう言っている 父の背中
肩たたき 泣きそうになる 「ありがとう」

Switch(スイッチ)の 時間よ止まれ あと5分
わがむすめ ヤル気「スイッチ」 どこにある

被災地の 未来のために 働く父
たまに会う 父との距離が 丁度良い

おもいで の ぼくの家が こわれてく
大じょうぶ 思いでだけは きえないよ

中村一小 五年 渋谷 佐良
母 渋谷 紀子

中村二小 五年 岩本 瑠華
父 岩本 宏美

中村二小 五年 松下 心咲
父 松下 謙

中村二小 五年 高力 和蓮
曾祖母 武藤 マサノ

中村二小 五年 佐藤 愛莉
母 佐藤 久美

桜丘小 五年 齊藤 司京
父 齊藤 公男

桜丘小 五年 竹島 来良
父 竹島 和也

桜丘小 五年 石川 聖羽
祖母 石川 トヨ子

飯豊小 五年 坂本 陽彩
父 坂本 武謙

磯部小 五年 荒 和花
父 荒 武範

日立木小 五年 佐藤 楓太
父 佐藤 弘樹

原町一小 五年 遠藤 みなみ
父 遠藤 敬志

原町二小 五年 高橋 黎
姉 高橋 凛

原町三小 五年 五十嵐 康太
母 五十嵐 美貴子

高学年 ご飯もおかずも 質より量
皿洗い 母の苦勞が 分かったよ

ぼくのため いつもサポート ありがとう
ひたむきな 息子の姿に ファン一号

先祖さま 私のこと見守ってねと 手を合わせ
迎え火で 亡き親たちに おもてなし

母の家事 今ではほくも 手伝うよ
大きめの 具材を口に 嬉し泣き

八年目 ひいじいちゃんに 会える夏
涙ぐみ 抱いたひ孫も 五年生

お父さん 二はいままでなら つぎますよ
びんびール 息子につがれ いい気分

たんじょうび かんしゃのきもちで クッキング
ありがとう 愛情カレー おいしいね

震災後 はじめて歩く 浜街道
子ども連れ 海風あたる 散歩道

【小学校 六年生】

母の手のぬくもり感じ うれしいな
久しぶり 娘(こ)と手をつなぎ お買い物

雨つづき スイッチ入れる 乾燥機
止まる前 溜まった水を そっと捨て

祖母つかれ ねているすきに かたもみを
ちよーやばい その手孫の手 魔法の手

お手紙を 母にこっそり サプライズ
優しさに 仕事終わりの 疲れ飛ぶ

切ないよ 仕事で行けず ライン見る
パパ来てよ ゴールを決める ぼくを見て

石神二小 五年 母 小泉 涼子
小泉 蒼士郎

石神二小 五年 母 柴 大翔
柴 真奈美

鹿島小 五年 祖母 中野目 乃愛
中野目 美代子

鹿島小 五年 母 三坂 颯斗
三坂 いづみ

八沢小 五年 祖母 田作 珠徠
田作 アイ子

上真野小 五年 父 武野 佑真
武野 将行

双葉南小 五年 母 草野 稜介
草野 美恵

稻葉南小 五年 母 五十嵐 心亜
五十嵐 もも子

新地小 六年 母 寺島 梨花
寺島 容子

駒ヶ嶺小 六年 祖母 森 崇子
山田 樹里

(相)大野小 六年 祖母 齊藤 麗音
齊藤 たい子

八幡小 六年 母 糸井 麻衣子
糸井 良子

中村一小 六年 父 種田 裕也
種田 千莉

とまらない 取れたて野菜 食べほうだい
またおいで 野菜尽くして 孫を待つ

鉄を持つ 支店カ点 作用点
じいちゃんは見ておぼえたぞ 鉄使い

ばあちゃんと同じサイズの くつになる
孫のくつ 借りてはいたら ちょうどいい

生まれたよ おいの泣き声 みな笑顔
我が子抱き 家族の顔に 笑みあふれ

お盆前 障子の貼りかえ 初挑戦
孫の手が 大助かりな 障子貼り

おるすばん 姉と行った お買い物
ママにもね おみやげあるよと メッセージ

家族の輪 笑顔のピースで 描がこうよ
欠けたとこ あなたの笑顔が うめている

「できたよ」と 朝食作り 母(ママ)起こす
目を閉じて 息子の呼びかけ じっと待つ

ねらうは金 みんなとかなでた 県大会
気温より 音に込めるは 熱き思い

墓参り 家族集合 三世代
笑みあふれ 話花咲く 墓参り

友と行く 弾む下駄の音 夏祭り
夕暮れに 響く下駄の音 四重奏(カルテット)

ニュース見て あおり運転 おそろしい
急がせる 夏の宿題 あおる母

親が由て 鍵閉めスマホの ロック開け
夏休み 宿題進まず あせる母

砂まみれ 決まれと願い 打つサーブ
決まるはず 俺が教えた そのサーブ

中村一小 六年 祖父 高野 育恵
岡村 秀敏

中村二小 六年 祖父 岡崎 航平
半谷 武

中村二小 六年 祖母 高橋 姫夏
高橋 好子

桜丘小 六年 姉 平田 みすず
水梨 なつみ

桜丘小 六年 祖母 阿部 友香
阿部 富美子

飯豊小 六年 母 鏗建 音羽
鏗建 妃都美

原町一小 六年 母 佐藤 創太
佐藤 弥生

原町一小 六年 母 小林 龍世
小林 美冴

原町二小 六年 母 豊村 璃紗
豊村 真美

原町二小 六年 母 菊地 真理恵
菊地 慎子

原町二小 六年 母 佐藤 心春
佐藤 麻美

原町三小 六年 母 佐藤 穂乃香
佐藤 亜希子

原町三小 六年 母 佐伯 彩乃
佐伯 和美

高平小 六年 父 天野 莉帆
天野 和典

お母さん はだして勝負だ 背比べ
母の勝ち 本気でバンザイ 最後かな

目玉焼き 一人でできたよ みて母さん
朝食を 作る姿に 子の成長

馬上から 見下ろす母は 大先輩
伝統を 受け継ぐ娘 勇ましい

グアム旅行 日ごろの学びが 役に立ち
聞きとれず 娘に教わり 立場なし

動画見て 作ったカンタン オムライス
帰宅後に すぐに食べれる あたたかさ

「おかえり」の 声も器も でかい母
「ただいま」の 子の顔見つけ 安堵感

いつまでも 切っただけあげたい 娘(こ)の髪を
もうやめて ちよっとのズレが 気になるの

力では 負けるが口で 姉に勝つ
妹の 口のまえでは 歯がたたぬ

体育館 汗にまみれて ポール追う
バスケット 親も必死に 追っかけ隊

母ねこむ 今日からぼくが 主夫になる
料理食へ 痛みにかずけて 涙する

お父さん 早く書いてよ 五七五
すぐ出来る 口では言うが 浮かばない

うでずもう 本気でやるよ お父さん
レディゴー!! 成長感じる 息子の手

母思い 洗濯たたむ 午後四時に
ありがたい 娘の気持ちと 家事時短

大夔小 六年 北原 未那
母 北原 愛

大夔小 六年 吉村 拓真
母 吉村 多江子

大田小 六年 田中 永愛
母 田中 幸

石神二小 六年 石田 来妃
母 石田 千由紀

石神二小 六年 金澤 璃桜
母 金澤 奈津美

鹿島小 六年 鹿又 大志
母 鹿又 清美

鹿島小 六年 鈴木 直子
母 鈴木 桜子

鹿島小 六年 山岡 みなみ
姉 山岡 蓮

鹿島小 六年 佐藤 莉央奈
母 佐藤 洋子

鹿島小 六年 天野 史章
母 天野 芳子

八沢小 六年 萩原 琉月
父 萩原 伸一

八沢小 六年 遠藤 颯太
父 遠藤 享

広野小 六年 横田 陽葵
母 横田 美智子

【 中学校 一年生 】

手伝いを すると喜ぶ 親の顔
手伝いは 自分の為だ 役に立つ

怒る母 笑ってほしくて おどけ顔
イライラを フフフに変える 子の笑顔

ここ最近 ルアーの釣りに 無我夢中
だんだんと 父との時間 ふえていく

夏休み 母の弁当 作る朝
弁当で 子の成長を 噛みしめる

緊張が 親にも伝わる コンクール
主旋律 緊張しながら 頑張った

飛び跳ねる 油を気にせず 肉料理
飛び跳ねる 油を気にする お母さん

あじさいの 浴衣の模様 お気に入り
裾上げず 浴衣着る娘(こ)の すまし顔

初めての 長い休みで 大はしゃぎ
チコちゃんの まねして叱る お母さん

夏休み 早く行きたい 学校に
その言葉 聞いて安心 母嬉し

宿題が 分からなくなり 父に聞く
見栄をはり 夜な夜な開く 参考書

ドッキドキ 五段評価の 通知表
通知票 並ぶ数字に 努力見ゆ

悩み事 母に話すと 気が楽に
アドバイス あなたの役に 立ったかな

尚英中 一年 荒 美嶺
父 荒 和彦

尚英中 一年 菅野 蒼心
母 菅野 香織

中村一中 一年 渡邊 皓介
母 渡邊 さおり

中村一中 一年 佐藤 凌緒
母 佐藤 愛里奈

中村一中 一年 松本 やよい
母 松本 莉桜

中村一中 一年 鈴木 那菜
父 鈴木 衛

中村一中 一年 佐藤 結花
母 佐藤 麻美

中村一中 一年 實 佑真
父 實 伸一

中村一中 一年 若竹 朱音
母 若竹 由美子

中村一中 一年 松本 心花
父 松本 親

中村一中 一年 木村 佳奈江
母 木村 淑江

中村一中 一年 篠山 明希
母 篠山 美紀

中村二中 一年 横山 司
父 横山 英彦

夏の夜の 舞う螢火に 胸おどる
夜空舞う 螢火に照る 子の笑顔

中村二中 一年 母
佐藤 まりん
佐藤 美希

「ナイスショット」 母とのテニス ひびく声
ほめながら 負けたくないと 粘る母

原町二中 一年 母
大杉 杏奈
大杉 路恵

「見ていてね」 大海原に 思いのせ
先人の 有りし日徳ぶ 誓いの灯籠(ひかり)

中村二中 一年 父
松下 咲良
松下 護

寝る前に 読書習慣 夏休み
消し忘れ 本とメガネを そっと取る

原町三中 一年 母
松本 さくら
松本 美奈子

焦らずに 帰ってきてね おばあちゃん
盆休み 迎火焚いて 想う人

向陽中 一年 母
星 女英愛
星 友美

曾祖父の かたみの旗に 日が差した
形見旗 戦死の祖父に 思い馳せ

原町三中 一年 母
木幡 大治郎
木幡 成子

オレの味 カレーもスープも 任せてよ！
美味しいね 息子の成長 身にしてみる

向陽中 一年 母
黒田 隼一
黒田 一恵

お手伝い お風呂洗いが 日課です
ありがどう 綺麗な風呂で 疲れ取る

石神中 一年 父
作内 穂香
作内 浩一

食べれない ふぐ釣ったって 腹がなく
沢山の 経験積んで 未来へと

向陽中 一年 父
高橋 和人
高橋 由文

祖母作る 宝石みたいな 夏野菜
炎天下 孫の笑顔を 活かに

石神中 一年 祖母
永田 蓮
永田 ハツノ

母のそば 暑いと思いつい 距離をおく
勘違い 娘の顔に 笑顔あり

向陽中 一年 母
池田 来暖
池田 靖子

記念日に 手料理作る 父母へ
ありがどう 気持ちの込めった プレゼント

石神中 一年 母
大内 凌那
大内 奈津美

いつからか 母のおさがり 着れる日々
気が付けば 家族一緒の 同サイズ

向陽中 一年 母
藤田 悠未
藤田 留美

夜ご飯 匂いで分かる 母の味
ババごめん 今日も娘の リクエスト飯(めし)

鹿島中 一年 母
金子 光希
金子 実聡

チームとは うらかたあって うごいてる
見ているよ ポール拾いの 日々だけど

向陽中 一年 母
岡田 晴南
岡田 育子

盆おどり 一人でおどれた ありがどう
夏祭り 天までとどけ ひまごの舞

鹿島中 一年 父
渡部 水貴
渡部 直樹

ファールまつ 出番がくるかな ポールボーイ
試合より 息子の出番が 待ち遠し

向陽中 一年 父
菅野 仁紀
菅野 賢

はなれてる だけど泣かない 友だから
だいじょうぶ はなれていても 友達だ

鹿島中 一年 いとこ
塩谷 心優
横川 莉央奈

卵焼き 近づいたかな 母の味
娘にも 受け継がれゆく 祖母の味

原町一中 一年 母
三浦 葵
三浦 喜美子

息子との 嬉し悲しの 背くらべ
母の背を 追い抜くまでに あと少し

鹿島中 一年 母
渡邊 貴美
渡邊 兼治

新しい 制服(ふく) 着て祖母の 家急ぐ
中学の 制服(ふく) 着た孫の 大人びて

原町一中 一年 祖母
鹿山 成美
岩野 よし子

夕散歩 家族の会話 参加する
ひぐらしが 家族の会話 邪魔してる

楷葉中 一年 母
田中 創
田中 千津子

小学で パパママ呼びは 卒業だ
思春期か？ 呼び方変わり 複雑だ()

原町一中 一年 母
庄司 歩未
庄司 絵美

僕やるよ 高い所も 届くんだ
いつの間に 目線が私と ほぼ同じ

尚英中 二年 母
菅野 健友
菅野 絵里子

受け継がれ 今度は私が 作るばん
娘へと 受け継がれてく 母の味

原町二中 一年 母
加藤 聖子
加藤 一花

泣きながら きゅっとにぎった 小さな手
幼子と ふれあう姿 頼もしく

中村一中 二年 母
堀内 美結
堀内 恵美

どう似合う 入学前から ショータイム
制服が 大きく見える 今のうち

原町二中 一年 母
木幡 美紅
木幡 麻由

【中学校 二年生】

家の壁 セミの抜け殻 一つの間に
一つの間に 服の抜け殻 洗ってる

中村二中 三年 荒 京佑
母 荒 美香

頑張れと 声援聞こえる 母の声
頑張れと メガホン叩く 母黒し

向陽中 三年 小野内 廉
兄 小野内 舜

お手伝い でも知ってるよ 二度洗い
バレちゃった? でも感謝だよ その気持ち

向陽中 三年 杉岡 璃夢
母 杉岡 美由紀

一週間 しばらく私が リトルママ
盆休み 娘に頼って 骨休め

向陽中 三年 木村 瑠愛
母 木村 美保子

有り難い 全て希望の 旅プラン
家族旅 最後覚悟し 思い馳せ

向陽中 三年 山下 瑛心
父 山下 博貴

答え出す 一緒に頭を ひねる母
宿題は 私のストレス 増やす種

磯部中 三年 鈴木 涼香
母 鈴木 貴子

夏の旅 話はずむ 車中泊
車中泊 新鮮すぎて 目が冴えた

原町一中 三年 佐藤 郁子
母 佐藤 美優

梅漬けて 孫の健康 ああ嬉し
暑い夏 祖母の梅干し 顔しぼむ

原町一中 三年 山崎 久子
祖母 濱田 恭太

祖父に会い 元気な姿 嬉しくて
車音(くるまおん) 気づかぬふりし 孫を待つ

原町一中 三年 遠藤 千佳
祖父 遠藤 堅夫

朝つらし 部活の集合 朝七時
どこまでも 送ってくれた 親感謝

原町一中 三年 徳野 貴洋
父 徳野 里菜

Tシャツも 家族で着回し 菜々(らくらく)だ
男四人 仕分けが大変 洗濯後

原町二中 三年 花井 玲公
母 花井 仁美

基まわり 地蔵の笑顔 祖母浮かぶ
夏の星 亡き母想う いつまでも

石神中 三年 星 涼乃
母 星 博子

一晩中 勉強したら 朝が来た
おはようと ドアを開けたら 徹夜明け

石神中 三年 高野 杏花
母 高野 奈々

妹よ ここはまかせた 先に行く
兄ちゃんよ 今は男も 家事をする

鹿島中 三年 只野 蓮
妹 只野 鈴

お父さん 二杯までなら つぎますよ
びんビール 娘につがれ いい気分

鹿島中 三年 武野 真依
父 武野 将行

看護師の 母の職場での 顔はプロ
ボランティア 娘が職場に いる緊張

小高中 三年 發田 紗織
母 發田 悦子

うたた寝が 一つの間に 川の字に
寝顔見て にやける顔が とまらない

広野中 三年 八巻 希美
母 八巻 浅美

一次審査通過作品(復興部門)

【小学校 一年生】

かせつには おもいでたくさん ありがとう
忘れぬ心 心に決めて 前進む

新地小 一年 伊達 凜李
母 伊達 愛

たのしみだ はじめてだよね かいすいよく
ふるさとの 風景変わる 未来へと

新地小 一年 舛田 結愛
母 舛田 由香

はじめての ぎよせんにつって うみにでる
震災を 知らない我が子 決意

駒ヶ嶺小 一年 三浦 泰一都
母 三浦 めぐみ

なつがきた いまではやさしい かおのうみ
人と船 未来(まこ)に向かつて 進んでく

中村二小 一年 横山 凜々衣
父 横山 忠洋

年々と 増える騎馬武者 響く蹄音(おと)
御神旗に 再興願う 夏の空

中村二小 一年 牛渡 結菜
父 牛渡 正義

ちいさいかい いっぱいたね まつかわつら
震災で いなくなつた貝も もとどおり

飯豊小 一年 門馬 克明
母 門馬 良恵

なつやすみ およぎにいくよ きたいずみ
8年の 時が流れて 海開き

大夔小 一年 鎌田 結愛
父 鎌田 寛典

なみのおと ざぶんざぶん しょっぱい
うみびらき 九年(くねん)ぶりの なつかしきよ

八沢小 一年 青田 雪愛
母 青田 裕香

【小学校 二年生】

たのしいな そうまのうみで かいすいよく
懐かしい 相馬の海の 賑やかさ

うまい米 じいじの田んぼ えがおの日
息子より 孫の代での 米作り

口の中 トマトブチンとはじけたよ
久しぶり 孫と一緒にの 里の庭

たのしいな はじめての海 きたいずみ
北泉 震災のりこえ 海水浴

たくさんの 人が笑える 故郷(ばしょ)になれ
故郷(ふるさと)の 匂いと景色 次世代へ

あつい夏 ことしもひとつ おとなになる
震災時 お腹にいた子が くれる未来

平浜(しどけはま) 今も変らぬ 波の音
波の音 母のお腹で 聞いた音

(相)大野小 二年 母 佐藤 希
佐藤 栄子

桜丘小 二年 祖父 橋本 柀介
佐藤 貢一

原町一小 二年 祖父 志賀 望英 瑠
中澤 正雄

原町三小 二年 父 佐柄 真紀
佐柄 英人

原町三小 二年 母 小林 来希
小林 知代

太田小 二年 母 大井 柚音
大井 千尋

鹿島小 二年 父 高田 貴浩
高田 芽生

【小学校 三年生】

やっと来た やっぱり海は つるしはま
「待ってたよ。」 釣師の海が うれしそう。

いとこらと 水着のあとに わらい声
孫集い 九年(くねん)ぶりの 海水浴

まってるよ でかいのせつたい つるからね
釣りざおの 活躍再び 海開き

うれしいな ぼくの町でも 海びらき
波と空 九年前と 同じ色

みかんには 広野のおいしさ つまってる
橙を ほおばる町の 風物詩

駒ヶ嶺小 三年 母 小野田 真音
小野田 麻衣

駒ヶ嶺小 三年 祖母 伏見 彩音
伏見 よし子

桜丘小 三年 祖母 國分 大志
伏見 裕子

原町二小 三年 姉 菅野 朗
菅野 奈緒

広野小 三年 父 長野 咲希
長野 宗利

【小学校 四年生】

待ってたよ 地元の浜で 波遊び
海で得る 潮の香りと 波音色

波の音 九年(くねん)待ってた 海遊び
海見ると 九年(くねん)感じる 子の成長

初めての 海はプールと ちがう波
復興が 進んで入る 初の海

十才で 初めての海 楽しいな
おだやかな 海のやさしさ 思い出す

【小学校 五年生】

令和でも 語りついでく 震災を
次世代へ 成せる復興 語りつぐ

ママの家 さみしい順番 取りこわし
取りこわし 思い出すべて 納屋の中

八年の 年月語る 磯遊び
磯浜の 彼方に浮かぶ 夏の空

夏の浜 おいしい焼きそば 海の家
子供達 また一緒に 磯遊び

スーパードで見つけたほっき 磯部産
夕飯は 名産品で ほっき飯

思い出す 砂浜に描いた アンパンマン
砂アート 9年経っても 腕落ちず

初めての 波の高さに おどろいた
思い出の 海で泳いだ 北泉

北泉 まちにまっていた ぼくの海
海開き 育った町に 近づくと

福田小 四年 父 目黒 東祐
目黒 喜彦

原町一小 四年 母 松野 僚輝
松野 佳織

原町三小 四年 父 渡邊 慎乃介
渡邊 文智

上真野小 四年 母 遠藤 沙紀
遠藤 祥子

新地小 五年 父 高橋 清都
高橋 正信

八幡小 五年 母 山田 成海
山田 咲子

八幡小 五年 母 武野 優花
武野 敏子

桜丘小 五年 父 遠藤 光希
遠藤 一美

磯部小 五年 母 佐藤 優介
佐藤 雅子

原町一小 五年 父 佐藤 夏萌
佐藤 昌記

原町二小 五年 母 横井 惣右介
横井 由花

原町三小 五年 母 川久保 有
川久保 成子

しんさいで あれたまち今 よみがえる
笑い声 日に増していく 朝の駅

小高小 五年 山本 玲奈
父 山本 広樹

復興は あなたの私の 第一歩
復興は 皆で築く 合言葉

八沢小 六年 沼内 遥香
父 沼内 徳

【小学校 六年生】

釣師浜 復興の花 空にさく
小さいな手 つないだあの日を 思い出す

福田小 六年 本田 結愛
母 本田 望

町民の みんなが集まる 笑店街
お盆の日 なつかしい顔 笑店街

榎葉北小 六年 長谷川 翔哉
母 長谷川 智恵美

つるし浜 みんなであそぶと たのしいね
わが息子 故郷の海への 思い馳せ

駒ヶ嶺小 六年 只野 恵大
母 只野 泰子

広野町 パナナとともに 前へ行く
幸せの 黄色いパナナに 期待して

広野小 六年 長野 実花
父 長野 宗利

海の風 潮風当たる 気持ちいい
幼なき日 恐怖の海も 未来へと

中村二小 六年 草野 晃穂
母 草野 裕紀恵

【中学校 一年生】

とりもどそう つなみで消えた あのときの海
再生は 常に海なり 船にのる

中村二小 六年 齋藤 響
母 齋藤 紗緒里

賑わいを 取り戻す町 花は咲く
石碑見て 昔の風景 懐かしむ

尚英中 一年 水戸 高聡
父 水戸 高典

ザンザン 海ってお話し してるみたい
子が遊ぶ 青い海見て 目がうるむ

桜丘小 六年 西積 来瞳
母 西積 紀子

久しぶり 笑顔戻った 釣師浜
古里の 海はいいなと 子等泳ぐ

尚英中 一年 岡田 咲幸
母 岡田 敦子

野馬追は 市を盛り上げる 伝統だ
変わらない 騎馬の姿に もらう勇氣

日立木小 六年 谷津田 真緒
父 谷津田 吉弘

祖父の船 初めて乗った 稲荷丸
孫はしゃぐ 9年ぶりの 夏祭り

尚英中 一年 山本 咲妃
祖父 菅野 幹雄

海岸が 少しずつもどる 福島県
進みゆく 護岸工事の 早さかな

原町二小 六年 渡部 光芳
父 渡部 高芳

友と行く 塩のかおりの 青い海
懐かしき 砂の感触 踏みしめる

中村一中 一年 鈴木 康史
母 鈴木 佳代

この場所で まちにまった 海開き
あの日から 戻って来たよ 夏の海

高平小 六年 小林 佳菜子
母 小林 春美

震災後 どんぐりの実を 植えてみた
太陽の 栄養浴びて すすくと

中村一中 一年 小松 隆暉
母 小松 育美

新しい 線路でつなぐ 復興の道
復興の 聖火を胸に いざ東京

石神一小 六年 吉田 愛華
母 吉田 小百合

食卓に 彩り添える 地場産品
積み重ね 戻った信用 地場産品

中村一中 一年 加藤 慶悟
母 加藤 しのぶ

人々は 復興を願い 進歩する
震災の 記録が次に 活かしている

石神二小 六年 小林 純晴
父 小林 孝幸

風景が どんどん変わる 町の中
新しい 海への道と 水平線

中村二中 一年 米澤 奈那
母 米澤 志寿子

初めての 家庭農園 新鮮だ
ごはん時 たりない野菜 すぐそこに

鹿島小 六年 大久 優雅
母 大久 有加吏

松川の 海が輝き 胸を打つ
天(そら)目指し 育つぼくらの 松並木

中村二中 一年 寺島 亜由香
父 寺島 周作

ホラの音ねに こめる思いは 感謝と復興
子供らと 参加出来る日よ 永遠に

鹿島小 六年 西畑 康成
父 西畑 誠一

黒袋 いつなくなるの 六号線
原発の 廃炉いそげと 枯れすすき

向陽中 一年 渡部 陸
祖父 渡部 治

水をかけ ぼくが育てた トマトだよ
福島のおいしい野菜 育てたね

震災後 海も復興 砂あそび
津波から 復興とげて 砂浜へ

九年(くねん)ぶり 待ちに待った 海開き
また一つ 生まれ育った 夏になる

原町の 海にも笑顔 芽生えそう
知らせたい 九年前の 海げしき

夏休み 日やけしようよ 海へ行く
日やけあと 夏の思い出 ものがたる

感無量 九年越しの 海開き
夏疾風(なつはやて) 磯のかおりを 懐かしむ

板を持ち 父の背を追い 波をかく
海開き 念願叶って 波乗りだ

8年後 戻った海が 生む笑顔
思い出は 砂の数ほど 波の数ほど

甲冑と 馬と貝の音 我がの郷
野馬追いが 梅雨明け知らせる 我が伝統

【 中学校 二年生 】

聖火リレー 福島スタート 復興へ
オリンピック みなに伝われ 楳葉から

めをとじる やっぱいいね・・・ 波の音。
幼き日・・・ 潮の匂いで 懐かしむ

うきわもち 今日朝から 北泉
復興の 証か孫の 初海水浴(はつおよぎ)

プールとは ちがう海の 塩辛さ
懐かしき 浮き輪についた 海の砂

向陽中 一年 佐藤 千仁
母 佐藤 泰子

向陽中 一年 荒 稀駿
母 荒 未美

原町一中 一年 鎌田 健太郎
母 鎌田 優子

原町一中 一年 小林 悠人
祖母 小林 弘子

原町二中 一年 相良 絢音
母 相良 真理

石神中 一年 伊東 蒼良
母 伊東 友美

石神中 一年 清水 夏輝
父 清水 剛

鹿島中 一年 小倉 遼介
母 小倉 聡美

鹿島中 一年 伊藤 寧音
母 伊藤 真純

原町一中 二年 佐々木 琉偉
母 佐々木 香織

原町一中 二年 渡部 心登
母 渡部 友美

原町二中 二年 高城 愛海
祖父 高城 照義

原町二中 二年 豊村 瑠唯
母 豊村 真美

碧き海 灼けた素肌と 響く声
待ちわびた 九年越しの 波しぶき

飯館は 復興をきに ビカビカに
財産は 心のつながり この出会い

そびえ立つ 海をかくした 防波堤
海見えず されど子の命(めい) 愛おしい

震災から 8年ついに 海びらき
明るさと 笑顔が戻る 新地駅

洪辺から 見上げる花火 きれいだね
松の木を うつすら照らす 花火かな

この先に 何かあるのか 知る楽しみ
ナビにない 道路ばかりに 四苦八苦

祖父の家 草でわからぬ 家の跡
実家前 景色が見えぬ 防潮堤

復興の 証懐かし 北泉
海開き 前へと進む 僕のみち

常磐線 東京五輪へ 走り出せ
待ちどおし 復旧八割 常磐線

復興を 肌で感じた 海開き
一歩ずつ 前へ進むよ 私たち

8年間 待ちに待った この瞬間(とき)を・・・
久々に 娘と一緒に 墓参り

石神中 二年 岡田 綾菜
母 岡田 愛海

飯館中 二年 菅野 翼
先生 佐藤 拓也

広野中 二年 小林 大希
母 小林 仁美

尚英中 三年 今野 優香
母 今野 史子

尚英中 三年 寺島 翔聖
母 寺島 容子

中村一中 三年 坂本 詩穂
父 坂本 光正

中村二中 三年 椎谷 翼
母 椎谷 貴子

原町一中 三年 大槻 奈香
母 大槻 虎聖

原町一中 三年 岡田 友加
母 岡田 萌々花

原町二中 三年 山岸 真知子
母 山岸 和

鹿島中 三年 高野 大空
母 高野 登志江

【 中学校 三年生 】

「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」に関する
ご意見・ご感想（一部抜粋）

○ 人と人をつなげるよい事業だと思います。素敵な作品がうまれますように。（母）

○ 毎年楽しみに親子で考えています。（母）

○ 毎年楽しく取り組んでいます。たった十七音。でもこの十七字のために、ふれあいも多くなります。（母）

○ 夏が来るたび、十七字を通して日常や復興を改めて思い返すことができます。（母）

○ 普段思っていることを文字にできることは、子供への気持ちを再確認できて良いことだと思いました。（母）

○ 毎年参加させていただいています。親子で一緒に取り組める事で良い体験をしていると思います。（母）

○ 夏休みの恒例となり、親子で楽しんでいます。（母）

○ 毎年孫に今年もお願いと言われてやっています。この事業が何年も続きますようお願いしています。（祖母）

○ 小学校最後の「十七字」となりました。小学一年の時から作品を思いだし、娘の成長やその時々思い出がよみがえり、改めて親子の絆や県内の復興を感じました。（母）

○ 入賞作品にはいつもほっこりさせられます。（母）

○ 同じ感動を共有できることがとてもうれしいです。一緒に考えるのを夏休みの楽しみにしています。（母）

○ 毎年、楽しく参加させていただいております。（母）



